

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



心岳寺のゆり
 写真提供：鈴木舜光君

会長：鈴木廣利 副会長：桜井富郎 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1637回



2005-2006年度 RIテーマ
超我の奉仕
 カール・ヴァルヘルム・ステンハマー

<ソング> R-O-T-A-R-Y
 <ソングリーダー>成瀬 弘明君

会長挨拶 鈴木 廣利君

9月に入り昼間はまだまだ残暑の厳しい日が続いておりますが、朝夕は涼しく感じるようになりました。

この前の日曜日は衆議院議員選挙でしたが、皆様が思っていた以上に大差がついた結果になり改めて選挙の恐さを知りました。この事は大勢の方が感じたと思います。

さて今月は新世代月間です。先週はブラジルからの交換学生カウエ君の紹介を村松国際奉仕委員長にいただきました。本日は藤枝順心高校のインターアクトクラブの皆様をお迎えしました。後程皆様には活動状況やクラブの年間行事報告等の卓話をお願いすることになっております。

鈴木亀雄ガバナーは「新世代のための月間にあたり」という見出しで今月のガバナー月信に次のような事を伝えてきております。私達大人もかつては子供の時代をへて今日の大人になった事です。2005年ロータリアン必携に「青少年と協力」ロータリークラブ会員として享受できる機会でも最もやりがいのあるものの一つが地域社会の青少年との緊密な協力です。ロータリアンには思春期の青年に力を貸すことから得られる充実感の他に若いエネルギーと一途な情熱に刺激を受け、自分自身も活力を取り戻し、英気が養われると報告しています。ロータリーの伝統ある標語「各ロータリアンは青少年の模範」は半世紀前と同じく今日でも色あせていません。地域社会と市長、そして将来を担う若い人達の為にもロータリアンはその模

範にならなければなりません。と云っておられます。今度の土曜日には藤枝市少年サッカーリーグの閉会式が市民グラウンドで、日曜日には私共藤枝ロータリークラブ旗争奪少年剣道大会が市民体育館で催され私も出席いたしますが、これら地域の青少年の行事に参加し彼等に手を差し伸べる事がロータリーの青少年活動の主な目的に繋がるのではないのでしょうか。

是非、この新世代月間にあたり青少年に機会、希望そして未来を与える為にも行動しようではありませんか。今日は新世代月間にあたって私感をのべてみました。

幹事報告 松葉 隆夫君

- 9/11「富士山の自然環境実体験ツアー」の写真がガバナー補佐より届いています。
- 第23回藤枝地区暴力追放・銃器根絶決起大会の開催についてのお知らせが藤枝地区暴力追放推進協議会より届いています。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信No.22が届いています。

出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 41 63.41%	29 / 41 70.73%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
- 飯塚君 ○岩崎君 ○杉山君 ○松葉義君
 - 水野君 ○宮川君 ○村松宏君 青島彰君

板倉君 浅川君 鈴木晶君 鈴木舜君 増田君
仲田晃君 望月志君
(2)メークアップ者
杉山 静一君(静岡中央)

スマイルBOX 後藤 功君

●結婚記念日のお祝いありがとうございます。

成瀬 弘明君

スマイル累計額 396,000円

委員会報告

『青少年セミナーに参加して』

新世代委員長 竹田 勲君

会場 サンルート清水

講演 テーマ「ロータリアンがなぜ教育に関わるのか」

講師 静岡県教育委員会 社会教育課 杉山孝課長
スライドによる、しずおかの挑戦、富国有徳・創知協働の説明等々あり、教員の民間企業体験研修の小学校教諭の研修を終えて(食品卸会社)の感想文がありました。紹介します。

「私がこの研修を終えて、子どもたちに伝えなくてはならないことは・・・

一つ目は「食に対して問題意識を持つということ」・・・

二つ目は「働くことの意義」である。

この研修で私の見てきたすべての働く人たちは、手抜きなしの真剣勝負で生きていた。持ち場は違っても、その働きが世の中を支えていることを目の当たりにした。定職に就かない、または、就こうとしない若者が多い昨今だが、大人が子どもたちに「働くことの意義」をきちんと伝えていくことの重要性を強く感じさせられた。以下略・・・」

終って分区ごとのテーブルディスカッションに入る。各テーブルには、先進クラブの三島より2名のアドバイザーが同席、活動状況・経過の説明をいただいて話し合いに入る。

話の中で、5分区9クラブの現況は、クラブとしての活動はないが、ロータリアンとしてではなく、個々では中学生の職場体験の受け入れ・講師としてはかなりの人たちが活動を行っているのが現状でした。

杉山課長の講演にもありましたように、これが

らは教諭の職場体験の受け入れまでしていかなければならないような状況になってきているような気がいたしました。

『会員増強アンケート 結果報告 その1』

会員増強委員長 小西 啓一君

会員42名 回答29名 回答率69%

設問1 現在のクラブ会員数(42名)についてお訊ねします。

多い 現在で良い 4名 少ない 25名

設問2 少ないと回答された方にお訊ねします。

(クラブの最適会員数は、過去35年間で最小30名最大68名平均52名)

40~49 1名 50~59 24名

60~69 1名 70以上

設問3 会員の増強についてお訊ねします。

会員全員で取り組む 23名 委員会(3名)だけで 最適数になるまで委員の数をふやして(年代別の委員)5~10名で 10名

その他 2名

設問4 平成7年65名から本年まで会員数が減少した理由は

経済情勢等外部要因により 22名 クラブの長期的取組不足 10名
ロータリーに新会員を勧誘する魅力が無い 10名 その他 4名

設問5 新会員の推薦についてお訊ねいたします。

現在の会員の年齢構成は40才代3名、50才代10名、60才代16名、70才代10名、80才以上3名 平均年齢60才

40才代 6名 50才代 23名

60代 3名 70代 を中心に

その他

設問6 新会員の推薦についてお訊ねします。

今新会員として推薦できる人が居る 1名

居ない 11名 今は居ないが探せば居る

15名 推薦は出来ない その他 2名

設問7 新会員を推薦した時どこまで協力できますか。

被推薦者の入会勧誘に増強委員と出向く 11名

入会まで増強委員と協力できる 9名

入会後もカウンセラーとして新会員の相談にのる 7名 その他 1名

『会員増強アンケート 結果報告 その2』

会員の皆さんにはアンケートにご協力いただき有難うございました。アンケート結果を拝見いたしますと現在の会員数は少なく、せめて50名以上が正常な姿である。会員の増強についてはクラブ全体で取り組む必要があり、或いはその為に増強委員を増やし長期的な取り組みが大切であり、現在の会員数になった事の原因はパブル崩壊に原因はあるが、増強についてのクラブとしての長期的な取り組み不足と、クラブ活動に『ロータリーはこんなことをして社会に役立っています。ぜひ一緒にやりませんか』と新会員を勧誘する魅力が無いと感じている会員もいます。設問4の については藤枝南クラブが出来た事と多数の会員が移籍し藤枝・藤枝南クラブのテリトリーがあいまいで、若い人達は南クラブへの入会が多い(藤枝青年会議所特別会員で、昭和15年生まれ以降で藤枝クラブ入会者2名、南クラブ19名)等を指摘された方もありました。またテーブルメイトでの推薦が生かされていないのではないかと指摘もありました。この点については被推薦者名を例会で公表し会員全体で新会員候補者についての共通認識をもつ事により生かして行きたいと考えています。

今後の会員増強については50才代を中心に対象を絞り、会員の皆さんには協力を仰ぎながら増強委員会の枠にとらわれず、年間事業計画に沿って進めてまいります。設問6の 新会員については今居ないが探せば居るの答えを信じ増強に努めたいと思います。皆さんのご協力を宜しく願います。

インターアクト委員会

『藤枝順心高校 I A C 年間報告』

顧問 佐野巖先生

本年度は、昨年まで別々であった J R C とインターアクトを一つにし、インターアクト部として新たにスタートしました。1年生を新たに5人加え、2年生4



人、3年生14人という構成です。日常の活動としては、外部講師を招いての点字講座、附属幼稚園の時間外保育の手伝い、献血キャンペーン、各種の募金活動、藤枝養護学校の各種の行事の手伝いなどを行っています。

特に、週2回の点字講座では、初級・中級という資格を取ることに以外に、年間を通じて点字カレンダーを作成し、年末には養護学校へそれを寄贈しています。ただ最近では、この活動以外の活動がどちらかというと低調で、本来のボランティアという活動がいま一歩という状況です。

7月に三ケ日で行われた年次大会には、顧問1名、生徒5名が参加しました。今回はホスト校が聖隷クリストファー高校という事もあり、聖隷グループの施設を見学する機会がありました。本校生徒は、浜名湖エデンの園という有料老人ホームを見学しましたが、まさに経済的に恵まれたお年寄りたちのすばらしい設備、環境の施設でした。病院と直結の居室・介護サービス等、これからの日本がかかえる介護のあり方がある一面見ることができました。その他、他校との交流もでき、大変有意義な2日間であったと思います。

オーストラリア海外研修につきましては、2名の生徒が参加をしました。2名とも海外は初めてであり、またどちらかというとおとなしい生徒であったため心配しましたが、帰ってきてからの話では、目を輝かせながらファームステイの話やホストファミリーとの別れ、オーストラリアの雄大さについて語ってくれました。国際交流という点で、大変貴重な経験になったと思います。

最後に、年次大会でも話題になりましたが、部員の減少が本校でもこれから問題になってくると思われます。ボランティアのあり方を考えながらこの点をこれから克服していきたいと考えています。

インターアクト部
部長 羽山恵子さん

私達は、主に点字カレンダーの制作を中心に活動しています。点字カレンダーを制



作するにあたって、点字の初級課程を取得しなければなりません。4月から始めてまだ講習が終っていないのですが、すでに、初級を取得している2・3年生でカレンダーの制作を行っています。

他には、付属幼稚園のお手伝いや、校内の献血キャンペーン、静岡の青葉公園での献血キャンペーンや、赤い羽根などの募金活動や、藤枝養護学校の各種の行事の手伝いなどを行っています。

先ほど、先生が言ったように、部員が減少していて、あまり多くのボランティアに参加することができませんが、これからも多くのボランティアに参加していきたいと思っております。

インターアクト部
副部長 増田悠さん



私は、7月30日
7月31日に年次大会に参加しました。
順心高校からは5名

という少ない人数でしたが、とても楽しかったです。クリストファー高校に行き、ロータリーの方の話の聞きました。中でも、青島さんの言っていたインターアクト部の人数が減っているという話では、たしかに人数が少なくなっていると思いました。

お話が終りグループ研修になりました。私達のグループは、エデンの園に行きました。エデンの園はお金持ちの老人のために造られた老人ホームでした。お金持ちの老人は普通の老人ホームに入れてもらえないと聞いて、とてもびっくりしました。けれど施設の中を見ると、みんな明るくとても元気でした。部屋もとてもきれいでした。グループ研修が終わり、三ヶ日青少年の家に向かいました。夜は花火が遠くでやっていてとてもきれいでした。

2日目は浜名湖を船で一周しました。ガイド放送の説明も分かりやすく、とても楽しかったです。

(担当/成瀬)